

生活 あきとかよし

1年1組
授業者 山中 美穂子

■ 単元の目標

- 身近な自然に目を向け、様子が変化したことに気づき、進んで関わり楽しく遊ぼうとしている。（関心・意欲・態度）
- 秋の遊びや自然物を使った製作活動を進んでいたり、気づきを言葉・文・絵などで表現したりすることができる。（思考・判断）
- 自然の様子の変化や、活動と共にした友だちの良さに気づく。（気づき）

■ I C T 活用の視点

○ 学習効果を高めるための ICT 活用

秋の公園探検や学校などで見つけた落ち葉や木の実を小型携帯ゲーム機のカメラ機能で撮影し、その画像にその都度気づいたことや感想などを記録していく。ペンで画像に直接書き込めるので、気軽に観察シートを増やしていくことができる。また、集めた木の実や木の葉で、遊んだり飾ったりする物を作り、でき上がったものを紹介し合う際に、ICTを活用し、写した木の実や木の葉からどのような作品を作っていたかを大きく映し出すことでその工程を伝えやすくしたい。

■ 本時の授業の概要

本単元では、身近な秋探しから始まり、公園探検へでかけ、自然と直接関わり遊ぶことを大切にしている。そして、集めたものを利用して製作活動をし、作ったもので楽しく交流することをねらいとしている。

本時は、製作したものを紹介し合い、お互いの良さに気づき、もっと知りたいことをGTに聞いて木の実や秋の自然について理解を深められるようにしていきたい。

本時の目標

- 作ったり遊んだりしたものを紹介し合い工夫したことを話し合うことができる。
- もっと知りたいことをGTに質問し、木の実や秋の自然について理解を深めることができる。

学習活動	指導上の留意点
1.本時のめあてを確認する。 あつめてつくったものを、しようかいしよう。	
2.遊んだり、作ったりしたものを発表し合う。 (1)それぞれグループごとに発表 <ul style="list-style-type: none">• どんぐりごま• けん玉• おなもみダーツ• リース• ツリー• 動物• 木の実のふえ• アクセサリー• 木の実の冠• お面など	集めたものをどのように作品にしていったかの工程が分かるように小型携帯ゲーム機を活用して発表できるようにする。 工夫したところや頑張ったところなどお互いの情報を交換し、今後の活動に生かすことができるようになる。 画像を通して、秋の素晴らしさを感じ取れるようにしていきたい。
(2)友達の作品について感想発表	友達が工夫しているところや頑張ったところを発表する。
3.身近にある木の実についてもつと知りたいことを専門家に聞く。	正しい名前を知ることでより興味をもって秋の木の実を観察しようとする意欲を高めたい。
4.本時の活動を振り返り気づいたことや頑張ったことを書く。	自分が作って楽しかったことや友達のよかったですなどをカードに書く。